

## 「なすかしの森 9 DAYS キャンプ 2019」報告

フォローアップキャンプ 令和2年1月11日(土)～13日(月)

### 【目的・趣旨／概要】

「なすかしの森 9 DAYS キャンプ 2019」の参加者が、一堂に会し、事業の趣旨について再確認をする。また、メインキャンプ事業終了後からこれまでの生活について交流しながら、これからの生活で自分にできることを考える。



### 【連携先】

・研修指導員 高田 雅雄 氏

### 【参加者】

小学5年生10名 6年生7名 中学1年生2名 中学2年生1名 (計20名)

ボランティアスタッフ2名

【欠席者5名は含まず】

### 【プログラム概要】

#### 【再会のつどい】

8月のメインキャンプから、5ヶ月後の再会となり、全員そろうことはかなわなかったが、9 DAYS キャンプの思い出を、ひらがなカードを用いて伝え合ったり、スライドショーを見たりした。また、久しぶりに出逢う仲間と、集団ゲームなどをして楽しんだ。



#### 【再会パーティ】

再会を祝し、調理施設のある部屋で、手作りのパーティを行った。献立は手巻き寿司で、班ごとに違う材料を用意し、切ったり、焼いたりしながら、それぞれが具材を作った。他の班の具材も巻いて食べながら、メインキャンプのフェアウェルパーティを思い出し、楽しい時間を過ごした。



#### 【雪中活動】

当初、8月のメイン会場であったキャンプサイトで雪遊びをする予定だったが、積雪量が足りず、雪の状況を見ながらの活動となった。参加者は、そり遊びや、雪像作りなど自分たちで考え、工夫して協力しながら遊ぶことができた。また、夜にはスノーキャンドルを作り、雪のナイトハイクを行い、メインキャンプとは違う楽しさを感じていた。



#### 【志共育】

最終日が成人の日ということもあり、それぞれの夢を語り合い、さらに、「志」という観点で見つめ直して、今後の生き方を考える時間を設けた。別れのつどいでは、それぞれが立てた志を発表し合い、認め合うことを通して、より前向きに生活する意欲を高めることができた。



## 【成果】

- ・メインキャンプから5ヶ月を経てからの再会であったが、一人一言の紹介を工夫し、和やかな雰囲気始めることができた。
- ・積雪量が少なかったが、雪のある場所を探し、環境を与えることで、子供達自身が遊びなどを工夫し、声を掛け合って楽しい時間を作っていた。
- ・メインキャンプでの3つのねらい「仲間意識」「協働する喜び」「自己肯定感」を想起させる活動ができ、成長した自分たちを再確認することができた。
- ・志共育をしたことで、自分自身のこと、これからのことをじっくり考える時間をとることができたので、有意義な時間となった。

## 【課題と方策】

- ・メインキャンプの申し込み時から日程を伝えていたが、別件があったり具合が悪くなったりと、全員の参加がかなわなかったことは、残念である。
- ・再会のつどいで、班の意識を再確認する活動ができれば、もう少し、スムーズに再会パーティの準備ができたと考える。
- ・雪の活動を多く計画していたが、積雪量が足りず、予定変更を余儀なくされてしまった。近年のこの時期の天候を考えると、雪がないことも視野に入れておく必要がある。

国立那須甲子青少年自然の家 [作成] 企画指導専門職：増田 直人

